

佐倉ばら会通信

Sakura Rose Society

事務局

住所：佐倉市宮ノ台3-2-5 ホワイトハウスA5 TEL：080-5966-1187

URL：<http://rose-society.net>（公式サイト）

E-mail：srs@rose-society.net（お問い合わせメール）



2013.April

平成 24 年度市民協働事業で

J R 佐倉駅北口前の景観整備を市と協働で実施

佐倉市では、市民協働による自治運営を推進していくことを目的として、平成 19 年 1 月に「佐倉市市民協働の推進に関する条例」を施行し、これまでに様々な取り組みを行ってきています。事業には、市民の皆様が実施事業を提案する市民提案型事業と、市が実施事業を提案する行政提案型事業、主に小学校区を母体とした地域まちづくり協議会があり、平成 24 年度は、行政提案型事業として、唯一、佐倉ばら会が、佐倉市(産業振興課)と協働し、J R 佐倉駅北口前の景観整備事業を担当しました。

事業は、「駅前ガーデンでおもてなし事業」として、佐倉市の観光テーマの一つである「花」を生かし、観光客へのおもてなしの心を表現するため、佐倉市の玄関口ともいえる J R 佐倉駅北口前の景観の整備として、ガーデンの企画・設計、花卉の植え替え、水やり、除草作業等を行いました。

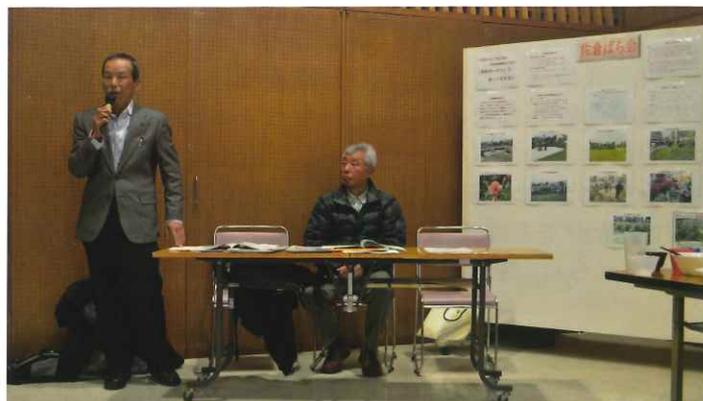


具体的な作業としては、平成 24 年 4 月にガーデンの設計を行い、5 月初旬に土壌改良を行った後に、ガーデンの基本となる灌木やばら等の植え込みを実施しました。その後は、週 3 回の草取り、水やり等の維持管理を市と協働で行いました。また、7 月には、ひまわり等の花の植え込み、9 月には、樹木の刈り込みや草刈り、11 月には、花の少ない冬の間でも楽しめるように、葉牡丹等の植え込みを行いました。

こうした活動については、平成 25 年 2 月 17 日に、佐倉市中央公民館で開催された「平成 24 年度市民協働推進講演会 & 市民協働事業報告会」で、佐倉ばら会の前原克彦会長が報告を行いました。

なお、当日は、ばら会のほか、市民提案事業から 6 団体、地域まちづくり協議会から 5 団体の報告がありました。

佐倉ばら会では、平成 25 年度も、引き続き、週 3 回の通常管理のほか、年 4 回(4 月、7 月、9 月、11 月)に、刈り込み、草刈り、植物の植え替え等を行っていく予定です。



現代バラのルーツ
シリーズ③

テリハノイバラ

[前原克彦佐倉ばら会会長]による、
現代バラのルーツについての連載3回目です。

テリハノイバラ (照葉野茨) Rosa luciae

千葉の海岸を散歩していると、砂地を這う小さな一重のツルバラを見かけます。これがテリハノイバラです。ランプリング・ローズという歌がありますが、この歌に歌われたランプリング・ローズのルーツがこのテリハノイバラで、現代の大輪のツルバラに発展しました。

強健なこのバラはハマナシと交配され、寒さに強いロサ・コルデシーという系統のバラが作られました。このバラなしには現在のバラ園の風景はできなかつたと言われるほど、バラの発展に大きな役割を果たしました。このテリハノイバラの変種で、リュウキュウテリハノイバラというバラがあります。小さな照葉に、一重の小ぶりな花が次々と咲き、9月にはオレンジ色の実をつけ、秋には緑の葉に白い花、そして実の赤とのコントラストの妙が楽しめます。佐倉草ぶえの丘バラ園には、このバラが植えられていますので、興味のある方は、草ぶえの丘バラ園を訪れてみてください。



トピックス

「第12回国際ヘリテージローズ会議 2012, 佐倉」無事閉幕

一昨年、東日本大震災の関係で、開催を延期した「世界バラ会連合公認 第12回国際ヘリテージローズ会議 2012, 佐倉」が、平成24年(2012年)5月31日(木)から6月6日(水)まで、国立歴史民俗博物館、佐倉草ぶえの丘バラ園等を会場に開催されました。

世界バラ会連合は、1968年に設立、各国を代表するバラ会で構成され、現在、日本を含む41か国が加盟し、3年ごとに世界大会を開催してきました。また、これとは別に、1984年から国際ヘリテージローズ会議が世界各地で開催されており、ヘリテージローズ、すなわち、人類の遺産として後世に伝えるべきバラや、野生種についての研究、保存等のために必要な情報交換を行ってきました。この流れが、ヘリテージローズに対する関心の世界的な高まりを受け、2006年に大阪で開催された世界バラ連合世界大会で、同連合に、ヘリテージローズ委員会が結成、2009年にバンクーバーで開催された世界大会で、国際ヘリテージローズ会議が、世界バラ連合の行事の一つとして、3年ごとに開催していくことが決定したものです。今回、アジアで初めて開催されたこの会議には、世界各国14か国から136人が参加、バラを愛する人々の友好を深めるとともに、バラに関する研究成果の発表、情報交換等が行われました。佐倉ばら会でも、会場設営、準備、初日の記念講演会等の受付、案内、オプションツアーのサポート等に協力しました。会議の主な日程は、5月31日(木)、午後から国立歴史民俗博物館で、開催記念公開講演会、夕方からは、佐倉草ぶえの丘バラ園のローズテラスで、

ウェルカムパーティーが行われ、実行委員会やボランティアの皆さんが用意した花や、心のこもった料理の数々が参加者をお迎えしました。6月1日(金)から3日(日)までは、午前中はバラに関する講義、午後はデイ・ツアー等が行われました。また、今回の会議には、世界バラ会連合元会長のジェラルド・メイランさんがスイスから参加されたほか、佐倉草ぶえの丘バラ園にも関係の深い方々も集いました。同バラ園にある「サンタ・マリアの谷」には、北イタリアにお住まいの女性、ヘルガー・ブリシエさんから寄贈されたバラが植栽されていますが、佐倉の地でのバラとの再会を懐かしんでいらっしゃいました。また、長年、インドで、熱帯地方でも育つバラの研究を行っているヴィルー・ヴィララガヴァンご夫妻も参加。同バラ園内の「インドの夢」のコーナーには、ご夫妻の研究から生まれたバラが植栽されています。なお、次の国際ヘリテージローズ会議は、2013年、ドイツのザンガーハウゼンで開催される予定です。



□佐倉ばら会主催行事から

◎鈴木省三・生誕100周年記念(プレ)講演会 (平成24年7月18日)

平成25年(2013年)は、日本の「バラの父」と称された鈴木省三の生誕100周年です。これを記念したプレ講演会が、平成24年7月18日(水)に、佐倉草ぶえの丘研修室で開かれました。講師は、同氏に師事し、親交も深かったNPOバラ文化研究所理事長、佐倉ばら会会長の前原克彦氏。「薔薇と生きて」と題した講演では、生涯に129種の新品種を作り出した世界的ローズ・ブリーダー(育種家)の実像に迫った、興味尽きないお話を聞くことができました。日本のバラ研究者で、鈴木省三の影響を受けない者は皆無といっても過言でないほどで、彼は、バラを探求することの楽しさを、あらゆる人々に教え、日本をリードするバラ研究者を育成し、日本のバラ界に偉大な足跡を残した優れた先駆者でした。それに加え、遺伝資源としてのヘリテージローズの重要性を早くから認識し、彼の研究農場には、戦前から収集された約1500種の原種、オールドローズを収集、保存していました。これらのバラの一部が、NPOバラ文化研究所に寄贈され、それらの原種を中心に、前原氏が平成7年に佐倉市下志津に、「ローズガーデン・アルパ」を開設しました。そして、その後、佐倉市の協力を得るなかで、同ガーデンのオールドローズを市に寄贈、現在は、佐倉草ぶえの丘バラ園に引き継がれ、日本のヘリテージローズの中心地として、全世界からの注目を集めています。そのような背景もあり、昨年「国際ヘリテージローズ会議 2012, 佐倉」が開催されました。鈴木省三の長年の夢でもあったバラの国際会議が、遂に日本の地、しかも佐倉市で実現した記念すべき年となったわけです。また、鈴木省三は、バラのみではなく、いろいろな芸術にも関心を示し、特に、クラシック音楽も良く聞いていて、このバラにはリズム感があるとか、ロマンがあるとか言っていたとのこと。そして、深い洞察力や広い心を持っていないと、バラは観賞出来ないとも語っていたそうです。

鈴木省三が残した129種の新作のバラは、日本人による日本人のバラを目指して作られたものですが、日本人の感性を大切にしながら作られたこれらのバラが、世界の数々のコンテストで高く評価され、メダルを獲得したことは、日本のバラ界に大きな自信を与えました。これまでに、鈴木省三が培ってきた業績を再認識し、私どもは、世界に向けて情報を発信し、世界と肩を並べてバラ文化の発展に寄与していく時期に来ているのではないかと、このことでした。



◎サロントーク「庭園史にみるバラ」&秋バラツアー (平成24年10月27日)



秋バラの開花に合わせ、佐倉草ぶえの丘研修室と同バラ園で、庭園の歴史におけるバラの存在についての講演と、秋バラの観賞ツアーが、平成24年10月27日(土)に開かれました。講師は、NPOバラ文化研究所副理事長として佐倉草ぶえの丘バラ園の運営にも携わり、佐倉ばら会の名誉会員でもある野村和子氏。野村氏は、鈴木省三に師事され、「オールドローズ花図鑑」等、多くのバラに関する著書も執筆されています。野村氏は、庭園におけるバラ 今昔(いまむかし)と題して、時代の古い順に、庭園とバラとの関わりについ

て、プロジェクターを使いながら分かりやすく解説しました。古くは、紀元前600年ぐらいに新バビロニアの王、ネブカドネザルが、エジプトから興入れして寂しい思いをしていた王妃を慰めるために、屋上庭園を造りますが、樹木が茂ると空中庭園のように見えたということ。また、紀元前400年代に書かれたヘロドトスの『歴史』という著書(これはペルシアとギリシアが戦ったペルシア戦争を中心に書かれたもの)の中の後半に、60枚の花弁がある薔薇についての記述があること。

佐倉ばら会では、H25.2/2(土)に、前原克彦氏による「木バラの剪定講習会」を行う予定でしたが、あいにくの悪天候のため、今回は中止とさせていただきます。

(株)マルモ出版から発行されている季刊園芸誌「My GARDEN」(マイガーデン)の2013年早春号 No.65は約20ページにわたり、『いま、心ときめく 永遠のオールドローズ 佐倉草ぶえの丘バラ園』がカラーで紹介されています。

鈴木省三の遺産を受け継ぎ、バラ文化の発展に寄与した功績を称え、それらを未来に引き継いでいくことを目的に、「鈴木省三生誕 100 年記念祭」が、平成 25 年(2013 年)10 月 31 日(火) から 11 月 10 日(日) まで、佐倉市立美術館をメイン会場に開催されます。主催は同記念祭実行委員会。主な行事は、鈴木省三展、講演会、パネルディスカッション、記念パーティー等が計画されています。佐倉ばら会でも、当事業を後援してまいります。皆さんも、この機会に、偉大なバラの大家、鈴木省三の足跡に触れてみてはいかがでしょうか。

サロントーク 「庭園史にみるバラ」& 秋バラツアー

そして、紀元前 350 年ぐらいのギリシア時代には、『テオフラストス植物誌』や『プリニウスの博物誌』等が著され、バラのさし木や剪定の大切さ、植える際の土の掘り方等についての記述があり、これはまさに現在に通じるもので、この時代にギリシアでは、既にバラ栽培の技術が確立していたことがうかがえること。なお、日本では、紀元後 759 年に成立したといわれる万葉集には、大伴旅人、大伴家持、山部赤人らの歌が残されているが、その中に、庭園を造り、そこにいろいろな花を植えている様子が歌われていること。また、平安時代中期に成立した源氏物語の中の乙女の巻の中にも、広大な六条院の庭園の描写があること。そして、鎌倉時代の春日権現記絵の絵巻には、中国から入ってきたチャイナローズの一種と思われる薔薇が描かれているこ

と。さらに、中世のヨーロッパでは、バラはマリアの象徴として修道院のみで栽培されていたこと。また、バラ戦争の発端となったイギリスのテンブル寺院でのヨーク家(白バラ)とランカスター家(赤バラ)との決裂の場面が、シェークスピアの戯曲『ヘンリー 6 世』の中に描かれていること。等々、興味深いお話を聞くことができました。講演終了後は、参加された皆さんと一緒に、草ぶえの丘バラ園を散策しながら、秋バラを觀賞しました。なお、草ぶえの丘バラ園は、敷地面積約 11,500 平方メートル、植栽品種は 1,050 種、植栽本数は 2500 株、園内は、鈴木省三コーナー、世界の原種コーナー、歴史コーナー、アジアの原種コーナー等 15 のコーナーに分けられており、博物館的な機能を持った植栽がなされています。

INFOMATION 佐倉ばら会の事業にご参加ください！

佐倉ばら会では、平成 25 年(2013 年)度もいろいろな事業を計画しています。皆さんのご参加をお待ちしています。現在計画中の事業の概要です。詳しくは正式決定後に、会員の皆さんには、個別にご案内を差し上げますので、ふるってご参加ください。

平成 25 年度主な事業予定

【協力事業】	【企画事業】	【協働事業】
<ul style="list-style-type: none"> 鈴木省三生誕 100 年記念祭 開催期間 10 月 31 日(火)～11 月 10 日(日) 場所 佐倉市立美術館 	<ul style="list-style-type: none"> 小出邸 庭園拝見会&ティータイム 日時 5 月 31 日(金) 午後 1 時 30 分～3 時 30 分 場所 佐倉市石川小出邸庭園 野村和子氏によるサロントーク 日時 7 月 13 日(土) 午後 2 時～4 時 場所 佐倉草ぶえの丘ローズテラス アカオハーブ&ローズガーデン(熱海市)日帰りツアー 期日 10 月 15 日(火) 木バラの剪定講習会(NPO バラ文化研究所主催の剪定会への参加) 日時 平成 26 年 2 月 8 日(土) 予備日 2 月 15 日(土) 午前 10 時～午後 3 時 場所 佐倉草ぶえの丘バラ園 会員親睦昼食会 日時 平成 26 年 3 月 2 日(日) 場所 貝殻亭(八千代市) 	<ul style="list-style-type: none"> JR 佐倉駅北口前「駅前ガーデンでお～つもてなし事業」 植栽及び手入れ(4 月・7 月・9 月・11 月)7 月下旬～9 月上旬 手入れ(草取り、水やりを重点的に実施) 志津コミュニティセンターミニガーデン 植栽(不定期に実施) 日常の手入れは、志津コミュニティセンターの指定管理者により実施する。

以上の事業については、予定ということで、今後、変更になることもありますので、ご了承ください。皆さんも何か事業のアイデアがございましたら、事務局までお知らせいただければ幸いです。

INFOMATION 佐倉ばら会へのお誘い

佐倉ばら会の活動に、皆さまのご支援、ご協力を、お願いいたします。

佐倉ばら会 (Sakura Rose Society) は、バラやガーデニングの愛好家である会員相互の親睦を図るとともに、バラ文化の継承及び発展に寄与することを目的に、平成 22 年 (2010 年)3 月に設立されました。これまでに、バラに関連した親睦事業や、バラの剪定・接ぎ木の講習会、バラに関する講演会、志津コミュニティセンターの敷地内にバラと宿根草のミニガーデンの寄贈、佐倉市との協働による JR 佐倉駅北口前の景観整備事業の実施等、様々な活動を行ってきました。平成 25 年 (2013 年) 度も、多彩な事業を展開していく予定です。これらの事業を通して、私たちの住む佐倉が、園芸による文化薫るまちに、また、潤いと感動のあるまちになっていくことを願っています。佐倉ばら会では、会員を募集しています。各種事業を通じて、会員相互の親睦を図りながら、バラや植物の知識を習得し、佐倉のまちを美しく、潤いのあるまちにしていきたいと思いませんか。正会員の年会費は 3,000 円、会員の皆さまには、下記のような各種特典もございます。

その他、佐倉ばら会事務局までお問い合わせください。また、ホームページからも申し込みが出来ますので、ぜひご覧のうえ、お申し込みください。



・会員特典の内容

レストラン ヴォナフォルトゥーナ (イタリアンレストラン)	佐倉草ぶえの丘	佐倉草ぶえの丘内 ローズテラス	日本サーナ株式会社(サーナピア)
会員を含むお客様で、お一人 2000 円以上ご飲食の場合、合計金額より 10%引き。	入場料 360 円 (通常 400 円)	500 円以上お買い上げの方に、特製ばらのマドレーヌ 1 つ (180 円相当)をプレゼント。	10%引き (一部商品を除きます)
〒285-0854 佐倉市上座 498-7 松村ビル 1 階 (☎463-7147)	〒285-0003 佐倉市飯野 820 (☎485-7821)	〒285-0003 佐倉市飯野 820 (☎488-4845)	〒285-0801 佐倉市木野子158 (☎498-2244)